

研究課題番号	S2-10-3
研究課題名	海底プラスチックごみの摂食・付着による劣化等、海底における微細化の実態把握手法の構築
研究実施期間	令和5年度～令和7年度
研究機関名	東京大学
研究代表者名	河村 知彦

1. 評価結果

評価ランク：A

2. 委員の指摘及び提言概要

海底プラごみに対する生物の摂食行動、生物の付着と剥離、そして海底砂などの物理的微細化に取り組み、それぞれに特徴ある成果が出つつあり、一部では計画を上回る成果をあげていることは評価できる。従来の知見である紫外線や波浪によるプラスチックの微細化に加え、物理的劣化と底生生物の摂食によるとの本研究は、まさに革新的である。生物過程、物理過程によるプラごみ微細化が微細化全体の中でどの程度の量を占めるのか、それらの割合は海底環境によってどのように変化するのかといった点を定量的に明らかにすることが期待される。